

# 現代社会と国際関係

選 択

開講年次：2年次前期

科目区分：講 義

単 位：2 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：私たちが暮らす現代社会は隣国や国際社会との密接な関係の上に成り立っています。とりわけ、発展著しい東アジアとの交流が欠かせません。しかし、それらの国々の社会や歴史、文化、政治、対日観などについて私たちはどれだけ知っているでしょうか。国際情勢が厳しさを増す中、一方的な情報や感情で判断するのではなく、相手の実情や様々な動きの背景に考えをめぐらすことも大事になってきます。その積み重ねが互いの違いを知り、相互理解へとつながり、日本社会や私たちの立ち位置を考える契機にもなります。東アジアでいま起きていることを日本との関係から読み解き、考えていきます。

■**到達目標**：①東アジアの基礎的な知識と情報を得るとともに、現在国内外で起きている状況を理解する  
②感情に流されることなく、多角的な観点で社会を幅広く見ていく力を養う  
③情報を見極め、選別する目を養うとともに、最低限のニュース感覚と国際感覚を身につける

■**担当教員**：

青木 隆直

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 はじめに（国際関係を学ぶ意味）
- 第 2、3 回 北朝鮮を読み解く
- 第 4、5 回 日米関係を見る（沖縄を含めて）
- 第 6－8 回 中国とどう向き合うか
- 第 9 回 ロシアと北方領土問題、極東開発
- 第 10－12 回 日本と韓国を考える
- 第 13－14 回 民主主義と人権（レーン・宮沢事件から考える）
- 第 15 回 まとめ

※ 講義内容の基本は変わらないが、国際情勢の変化やニュースに応じて変更や入れ替えがある

■**教科書**：なし

■**参考文献**：必要に応じて講義の中で資料を配布、または参考文献を紹介する

■**成績評価基準と方法**：定期試験はペーパーテストの代わりにレポートを提出。授業中に小レポートを書いてもらうこともある。授業態度や意見発表なども参考にする

評価方法	到達目標			評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③	
定期試験(レポート提出)	◎	◎	◎	70%
授業内レポート	○	◎	◎	20%
授業態度	○	○	○	5%
発表	○	○	○	5%
作品				
出席				10回以上の出席で評価対象とする
その他				

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：国際情勢や時事問題をきちんと見ていく癖をつけることで、自分たちの社会が今後どうなっていくのか次第にわかってきます。最初は「広く薄く」で構いません、日々のニュースに関心を持ち続けてください。「自分には関係ない」と思っていたことが、「実はそうではない」と気付くことが出てきます。それを積み重ねていくことで、視野も広がり、多角的なものの見方ができるようになり、一方的な情報に踊らされないようになってきます。これからの時代を作っていくのは、あなた方です。